

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	せんだいメディアテーク
2	指定管理者	公益財団法人仙台市市民文化事業団
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数：施設貸出利用者数》 平成30年度 374,387人（前年度比 94.1%） 平成29年度 397,793人（前年度比 104.8%） 平成28年度 379,598人（前年度比 90.5%）
		《事業》 メディアを活用した生涯学習活動及び文化活動にかかる情報・資料の収集、調査研究及び普及啓発、視覚障害者に対する情報活動の支援を行う。また、美術・映像に係わる情報・資料の収集及び提供並びに展覧会、講習会その他の催しを行うほか、展示や上映のための施設の提供を行う。
5	収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 577,596千円（569,873千円） ・その他市が負担した費用 44,615千円（59,489千円） 《収入》 ・使用料収入 68,255千円（75,494千円） ・その他収入 2,608千円（3,480千円）
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 平成30年12月に、施設利用者アンケートを実施した。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	職員は施設の設置目的を理解しており、施設運営や事業実施に活かされている。また、市民活動や外部機関と連携した事業を行うほか、定禅寺通りに面した立地条件を活かし、市の事業をはじめ施設周辺で実施される文化活動への協力が行われている点も評価できる。	27/27
II	施設の運営管理体制	災害発生時の誘導体制や、施設内で事故が発生した場合の連絡体制が非常に明確になっており評価できる。個人情報保護・情報セキュリティ・事故対応のための研修など、年間を通じて、各種研修を実施し、施設の運営管理を適切に行えるよう努力している。また、システム担当者を複数人配置し、セキュリティ対策を実施している点や、設備、清掃等委託業者とミーティングを重ね、情報共有、改善対応を行っている点が評価できる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	施設の保守点検や清掃などが適切に行われており、利用者が常に安全に利用できる状態を保っている。また、警備員の巡回も適切に行われており、利用者へ安全で安心感のある環境を提供している。更に、空調設備の省エネ運転や、トイレの節水対策を行うなど、仙台市環境行動計画に則った取組みを確実にしている。特に、光熱水費の削減については、電気使用量を前年度実績より3.4%削減するなど、日々のエネルギー使用量を記録し分析を行い、効率的な館運営に取り組んでいる。	25/24
IV	サービスの質の向上	施設利用者が使いやすいように、窓口やHPでの情報提供方法に工夫をしており、施設利用率も高い。利用者からのご意見やアンケート結果は、職員が情報を共有し改善に努めている。施設特性上見学者の多い施設であるため、多言語に対応できるよう職員を配置するほか、幅広い層に向けたパンフレットを作成している。	28/28
V	施設固有の基準	施設貸出や使用料徴収などの管理業務は適切に行われている。各種講座、市民等との協働事業を実施し、市民への生涯学習活動への支援が適切に行われている。事業実施にあたっては、市民が参加しやすい工夫がなされているほか、関係団体と良好な関係を築きながら行っている点が評価できる。	26/26

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市市民文化事業団）による自己評価》
<p>施設の管理業務にあたっては、仙台市と協議を行いながら条例、協定書等に基づき適切に行った。</p> <p>指定管理料については、委託業務や賃貸借を複数年契約や再リースを行うことにより費用の抑制に努めた。</p> <p>個人情報保護、情報セキュリティについては、全職員対象の研修等により対策を講じた。</p> <p>災害発生時への対応については、年2回行う消防訓練の訓練設定をより現実に即した内容とすることで、よりよい体制作りを努めた。</p> <p>施設維持保全については、耐用年数を超えた設備や経年劣化した設備の修繕を主として実施した。また、警備・清掃・設備をはじめとする委託業者との連携を密に行い、安全かつ省エネルギーに寄与する運営に努めた。</p> <p>サービス向上については、外部研修を積極的に利用し、職員の資質向上を図った。また、当財団による利用者アンケートを、有料施設利用主催者及び自主事業への来場者に対して実施、概ね「満足」の評価を頂くことができた。</p> <p>施設の貸出し、及び施設使用料徴収業務については、条例、協定書に基づき適切に行った。</p> <p>映像・音響ライブラリーにおいては、資料貸出やレファレンス、ボランティアと連携した障害者向けサービスなどのライブラリー業務に併せ、来館者の様々な問合せに的確で丁寧な対応に努めた。</p> <p>自主事業を実施するにあたっては、(一財)地域創造などの外部資金調達にも努め、展覧会「ヒスロム/hyslom 仮設するヒト」の開催や、スタジオ情報発信、地域文化アーカイブ事業を展開した。また、館長を軸としたトークシリーズや地域文化団体との連携、バリアフリー・デザイン事業、smtホスピタリティ向上事業、3がつ11にちをわすれないためにセンター、仙台・宮城ミュージアムアライアンスの運営、及びせんだい・アート・ノード・プロジェクトなどの実施により、メディアテークの特性や総合的なアクセス機能の活性を促すなど、時勢に応じた魅力ある事業の展開に努めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>せんだいメディアテークは、市民図書館との複合施設ということもあり、年間100万人を超える利用者があるが、平成30年度は館内サイン表示を追加するなど、すべての利用者が快適に利用できるよう改善を行っている点が評価できる。また、図書館の事業に加え、定禅寺通りに関する各種事業等への連携についても、良好な協体制が整えられている。貸出施設においては、公平な施設使用許可の取扱や利用者に対する適切な支援を行うほか、施設使用時のきめ細かいアドバイスなどにより、当該施設が市民の生涯学習活動の場として支持されているものと考えられる。また、ギャラリーについては、多くの市民に利用いただけるよう、抽選後の調整を丁寧に行い、利用促進・利用率向上に努めている。</p> <p>施設の老朽化が進み、設備の故障等緊急に対応を要する場合も増えているが、都度迅速に対応し、利用者への影響を最小限に抑えることができている。加えて、省エネルギーに関する取り組みや、各種設備の更新方法も工夫することで、経費削減ができている。</p> <p>活動支援においては、他施設にはない専門性を活かして、本市他部局や大学、NPOなどの団体と連携・協力しており、本市における生涯学習・文化芸術支援の拠点としての役割を担っているものである。</p> <p>バリアフリー事業においては、情報サービスを行う一方で、映画の音声解説や日本語字幕制作の養成講座を行い、実践の場として、受講生がボランティアとしてバリアフリー上映を開催するなどの企画も実施している。</p> <p>仙台・宮城ミュージアムアライアンスにおける市内博物館施設間連携を促進したほか、震災後の社会的なニーズを踏まえた「考えるテーブル」「3がつ11にちをわすれないためにセンター」等の事業を継続・発展させながら実施できた点が評価できる。</p> <p>以上、せんだいメディアテークの管理運営を担う当該財団による事業運営は、これまでの運営実績により蓄積された高度な専門性と知識、外部協力者やボランティア活動との良好な関係に基づき、多様な市民の生涯学習活動における要望に適切に対応し積極的にサービス向上に取り組むなど、施設設置目的に沿った管理運営を実施しているものと大いに評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局生涯学習部生涯学習課